

グローバル水素株式ファンド

<愛称:H2>

設定日：2021年8月16日

償還日：無期限

決算日：原則、毎年8月18日

収益分配：決算日毎

基準価額：12,011円

純資産総額：234.27億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

<基準価額の推移グラフ>



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

<資産構成比>

株式	97.9%
うち先物	0.0%
現金その他	2.1%

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

<分配金実績（税引前）>

22・8・18	23・8・18	24・8・19		
0円	0円	0円		

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
4.25%	10.07%	0.58%	17.07%	11.62%	20.11%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

<基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額	11,521円
要 株式	818円
為替など	-312円
因 分配金・その他	-16円
当月末基準価額	12,011円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの内容 ※下記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

<通貨別組入上位10通貨>

通貨	比率
アメリカドル	50.8%
ユーロ	18.4%
スウェーデンクローナ	6.8%
オーストラリアドル	6.7%
日本円	6.7%
イギリスポンド	3.2%
香港ドル	2.5%
ノルウェークローネ	1.4%
デンマーククローネ	1.3%
韓国ウォン	0.9%

<国・地域別組入上位10カ国>

国・地域名	比率
アメリカ	44.0%
フランス	10.7%
日本	9.0%
イギリス	7.6%
スウェーデン	6.8%
オーストラリア	6.7%
ドイツ	4.1%
イタリア	3.6%
中国	2.5%
ノルウェー	1.4%

<業種別組入上位10業種>

業種	比率
資本財・サービス	60.2%
素材	15.0%
エネルギー	12.5%
情報技術	7.5%
金融	3.7%

<投資カテゴリー別比率>

投資カテゴリー	比率
つくる	27.2%
運ぶ・貯める	52.4%
使う	19.2%

<規模別構成比率>

時価総額	比率
超大型株（500億米ドル以上）	43.3%
大型株（100億米ドル以上500億米ドル未満）	24.0%
中型株（20億米ドル以上100億米ドル未満）	27.2%
小型株（20億米ドル未満）	4.4%

※「投資カテゴリー」は日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドが考える分類です。

<組入上位10銘柄>（銘柄数：37銘柄）

	銘柄名	国・地域名	業種	投資カテゴリー	比率
1	LINDE PLC	イギリス	素材	つくる	4.5%
2	AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	アメリカ	素材	つくる	4.2%
3	BLOOM ENERGY CORP- A	アメリカ	資本財・サービス	使う	4.1%
4	AIR LIQUIDE SA	フランス	素材	つくる	3.9%
5	EMERSON ELECTRIC CO	アメリカ	資本財・サービス	運ぶ・貯める	3.8%
6	SCHNEIDER ELECTRIC SE	フランス	資本財・サービス	運ぶ・貯める	3.8%
7	CUMMINS INC	アメリカ	資本財・サービス	使う	3.8%
8	QUANTA SERVICES INC	アメリカ	資本財・サービス	運ぶ・貯める	3.7%
9	MACQUARIE GROUP LTD	オーストラリア	金融	運ぶ・貯める	3.7%
10	FLOWSERVE CORP	アメリカ	資本財・サービス	運ぶ・貯める	3.4%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※国・地域名は日興アセットマネジメントが信頼できると判断したデータに基づき、主として、各銘柄の本社所在地を表示しています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

米国株式市場は、前月末と比べて上昇しました。米国の大統領選挙で共和党候補が当選し次期政権による減税や関税の引き上げなどがインフレ圧力を高めると意識されるなか、米国連邦準備制度理事会（FRB）議長が講演で利下げについて慎重に進めると発言したことから株価を押し下げる場面があったものの、米国の小売売上高速報値が市場予想を上回ったことや、公表された米国連邦公開市場委員会（FOMC）の議事要旨の内容などから米国経済のソフトランディング（軟着陸）期待が強まったこと、イスラエルとレバノンの武装組織ヒズボラが停戦に合意し中東を巡る地政学リスクが後退したことなどが支援材料となり、株価は上昇しました。

欧州株式市場は、前月末と比べて概して下落しました。イングランド銀行（BOE）が政策金利を引き下げたことや欧米の長期金利が低下したことが株価の支援材料となったものの、米国の次期政権による通商政策の不透明感や中国当局による追加の景気対策が期待に届かなかったこと、ドイツの大手企業の業績悪化が嫌気されたこと、ドイツの鉱工業生産、ZEW景気期待指数が市場予想を下回り欧州景気の減速懸念が強まったことなどが株価の重しとなり、株価は概して下落しました。

◎運用概況

当月の当ファンドは、基準価額が前月末比で上昇しました。市場の注目を集めたのは、米国の大統領選挙でした。トランプ氏勝利の可能性が高まると、共和党がどれだけ議会を掌握できるかに注目が集まりました。第二期トランプ政権は2025年1月に発足し、予測不可能な状況が強まるとみられます。選挙結果が出ると、全面的な規制緩和と実質金利の上昇が見込まれるなか、金融セクターが押し上げられました。水素、二酸化炭素回収、石油・ガスおよび原子力エネルギーに関連するエネルギー・トランジションを手掛ける企業も追い上げました。また当ファンドの中小型株のエクスポージャーもプラスに寄与しました。一方、保有を最小限にとどめている、補助金への依存が強い再生可能エネルギーや環境技術関連の企業は低迷しました。

水素関連のニュースでは、米国の選挙を経て、水素やグリーン・テクノロジー分野におけるアナリストの見通しが注目されました。トランプ政権発足後は、米国の水素関連の見通しに若干の懸念がある模様ですが、一部の共和党基盤の州が強力に支援していることや規制の調整が見込まれることから、悪影響の一部が軽減されるとみられています。化石燃料から二酸化炭素回収の技術を用いて生成されるブルー水素は、トランプ政権下で保護されると考えられている特定のセグメントの1つであり、より強い成長をみせる可能性があります。

個別銘柄では、定置型燃料電池発電で世界をリードする米固形酸化物燃料電池メーカーが、米国の電力公益事業持株会社と最大1GWの製品供給契約を締結したことを受けて、大幅高となりました。同社の固形酸化物燃料電池は、コンパインドサイクル・ガスタービンに比べて効率性が高く、窒素酸化物（NOx）や硫黄酸化物（SOx）の排出量が最小限で、ガスタービンに比べて騒音レベルが低いことが特長です。また、極低温タンクや熱交換器の大手である米低温向け製品メーカーは、第3四半期決算発表後に、株価が大きく上昇しました。空気・ガス処理製品企業との合併から2年が経過して設備投資支出が正常化したことを受けて、2025年の受注残高見通しに確信を持っており、フリーキャッシュフローがさらに加速すると予想しています。米エンジニアリング・産業用ソフトウェア会社は、2024年通期の好調な業績が好感されて株価が急騰しました。

一方、中国の再生エネルギー製品メーカーとデンマークの風力タービンメーカーは、米国の選挙結果を受けて風力・太陽光発電に対するセンチメントが悪化したことから、マイナスに寄与しました。しかし、ハイパースケーラー（巨大なサーバーリソースを保有する企業）からのグリーン・エネルギーの需要などが、不利に働く政策リスクを軽減するとみられます。その他、米国の関税および中国・欧州の低調な経済成長に対する懸念から、フランスの工業用ガスメーカーや日本の産業ガス大手などの産業ガス会社に圧力がかけられています。特殊化学製品・電解槽を手掛けるイタリアの化学製品メーカーは、グリーン水素の受注の遅れが懸念されて、株価にマイナスに影響しました。グリーン水素に対する規制に不透明感があること、欧州で補助金支払いのペースがやや遅くなっていること、債券利回りのボラティリティを受けて資金調達コストが高止まりしていることが、背景とみられます。当ファンドでは、同社はグリーン水素の進展に不可欠な低コスト・高性能電解触媒の開発において重要な企業であり、規制の不透明感が解消して市場が回復する局面では優位性があるとみています。

当月の投資行動としては、商用電力・産業市場において重要な技術を有している米国の航空宇宙・防衛エンジニアリング企業を、新規に組み入れました。同社の先進的な差動変圧器（LVDT）センサーは極端な温度に耐えることが可能で、将来の液体水素ガスタービン燃料システムや水素燃料航空機エンジン、持続可能な航空機用に重要な技術を提供することを目指しています。また、静的触媒式水素再結合器（PAR）技術は、原子力発電所における水素の蓄積を防止し、安全性を高め、AIデータセンターの主要な燃料源を支援する役割を果たしています。また、デジタル化や電動化、送電網の拡大から恩恵を受けることができるイタリアの電線・光ケーブル企業も、新規に購入しました。水素製造施設で使用される電解槽やその他の重要部品といった、水素製造に不可欠な先進的ケーブル・ソリューションを提供しています。高電圧の海底インターコネクターケーブルは、浮体式洋上風力エネルギーを利用するいくつかのグリーン水素プロジェクトを推進しています。

◎今後の見通し

規制を強化している国もあれば、緩和している国もあるなど、経済・政治環境の変化が大きく、投資家は難しい局面に立たされています。こうした環境下、当ファンドでは2024年を通して利益確定売り続け、「フューチャー・クオリティ」の新しい水素アイデアに再投資し、またはこのような環境下で好調さを維持できると考える銘柄を積み増しました。十分に分散化されたポートフォリオは、ボラティリティが高まり不透明感が増すとみられる2025年も、底堅く推移すると考えています。

米国においてトランプ次期大統領は、バイデン現大統領が採用した多くの環境政策を廃止しようとする可能性があります。トランプ政権下でも水素を取り巻く環境に悪影響もたらされるとは考えていません。米国は水素サプライチェーンの構築が遅れており、政府が水素戦略を発表している多くの国のうちの1カ国に過ぎません。実際の戦略実施においても、法的・政治的問題に直面する可能性があります。さらに、水素の化学的的特性は、エネルギー安全保障や、アンモニアや精製など排出低減が難しい産業の脱炭素化において、長期的に不可欠な技術であり続けるとみられます。

さらに、水素関連のアナリストや市場参加者の間では、グリーン水素のための税額控除である「45V」は困難になる可能性が懸念されていますが、ブルー水素のための「45Q」水素税額控除は維持されるべきであり、その可能性があるとみられています。実際、米国でブルー水素の取り組みを強化する可能性が、信頼できるシナリオの1つとして提唱されています。この見方は、ブルー水素の製造コストの低さ、北東アジア諸国からの輸入需要、既存の米国の石油・ガス資源の使用、そしてテキサスやバーミユン州などの共和党支持州でのブルー水素施設への大規模な投資などによって強化されています。

一方、ハイパースケーラーは引き続き、十分なAIインフラ構築と過剰投資回避との適切なバランスを見出そうとしています。当ファンドでは、水素はエネルギー・ソリューションの1つとして有望であると確信していますが、保有銘柄については様々な成長ドライバー（AI/産業用エネルギー需要、市場シェア拡大、事業運営の改善など）への分散を徹底するようにしています。世界の経済成長がより限定的となってきたり、水素関連企業のなかでもよりディフェンシブな特性を持つ企業が相対的にアウトパフォームしやすいとみています。

水素経済の実現に必要なインフラ構築に対しては、当面の間米国以外からの政策支援が続くとみられます。加えて、今後数年の市場の牽引役は、資金・信用面での潤沢な流動性に彩られてきた過去の時代とは大きく異なり、世界のエネルギー・システムの脱炭素化など、社会的ニーズの高い分野の銘柄・セクターになると引き続き考えています。したがって、当ファンドでは、水素が環境・エネルギー関連の困難な問題の解決に役立つという現実世界の社会的ニーズに沿った銘柄の組み入れを維持していく方針です。

気候変動と地政学的懸念が深刻化するなか、世界はクリーンで安価かつ安全なエネルギーをこれまで以上に必要としています。クリーン・エネルギーの重要性はよく議論的となりますが、対立が激化する世界において、「安全で安価」なエネルギーの重要性はどれだけ誇張してもすぎることはありません。今日の各国政府が直面しているエネルギー危機は、過去数年にわたるエネルギー企業の設備投資不足と地政学的リスクの高まりを受け、長期問題化しています。さらに、気候変動関連の支出は依然かなりの低水準にとどまっており、一方で気温の上昇による打撃はより顕著になってきています。これらの危機を解決するという目標を達成する上で重要なプラットフォームとなる水素は、今後10年において、あらゆる主要なグリーンテクノロジー・ソリューションのなかで最も高い成長を遂げるとみられます。したがって、当ファンドで厳選して組み入れている気候・エネルギーのソリューション提供企業は、2025年だけでなくその先も勝者になると考えています。

当ファンドでは、クオリティが高い改善しつつある水素関連企業への投資を継続していきます。これまでと同様、事業の質はフューチャー・クオリティ投資の重要な柱であり、また、資本の賢明な投下・成長を図る経営陣に投資することも重要なポイントです。水素経済は大きな投資を必要としますが、これは好材料であると同時に、投資先が急速な拡大の必要性に耐え得る強いバランスシートを有する企業であることの重要性も示しています。

最後に、当ファンドは、今後の水素経済の生み出す変化が市場で過小評価されていると考える企業に投資しています。水素経済が日常生活にもたらす大きな変化だけでなく、ファンドの信託財産の成長という観点からも、今後も貢献していきたいと考えています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考情報

※「組入上位銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
 ※記載の見解等は、日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド による作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

<組入上位10銘柄の銘柄概要>

1 LINDE PLC / リンデ	つくる
産業ガス供給会社で、売上高世界上位。製造、液化、貯蔵、配送など4つの水素セグメントで専門性を有する。ITMパワーとの合併によりPEM型電気分解技術も獲得。多額の設備投資の必要性や大手寡占的産業構造から、参入障壁は高いため、価格決定力を有している点が魅力。また、Praxairとの合併によるシナジー効果も期待。	
2 AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC / エアプロダクツ・アンド・ケミカルズ	つくる
産業ガス供給会社で、商用向け水素の売上高世界上位。グリーンアンモニア、窒素、グリーン水素など、同社の安全性、信頼性、価格面で優位にある技術で、各種プロジェクトを実施。サウジアラビアで、水素生産を目指し、大規模なグリーン水素製造プロジェクトに参画。インドネシアでは、石炭からメタノールを製造する長期契約を締結。	
3 BLOOM ENERGY CORP- A / ブルーム・エナジー	使う
固体酸化燃料電池 (SOFC) の固定型発電システムメーカー。個体酸化技術は、既存の水電解技術と比べて高い効率性を有するため、水素の需要が伸びる中で、同社製品の優位性が高まる可能性がある。また、生産コスト削減により、同社の水素事業は米国のほぼすべての州に拡大される見通しであるほか、世界的にも事業拡大が期待される。	
4 AIR LIQUIDE SA / エア・リキード	つくる
産業ガス供給会社で、売上高世界上位。製造、液化、貯蔵、配送など4つの水素セグメントで専門性を有する。同社の40年以上の実績のほか、多額の設備投資の必要性や大手寡占的産業構造から、参入障壁は高いため、価格決定力を有している点が魅力。同社は、水素売上高を現在の数倍に拡大させる計画を表明している。	
5 EMERSON ELECTRIC CO / エマソン・エレクトリック	運ぶ・貯める
電気系複合企業。オートメーションと気候変動ソリューションという2部門で、速い成長と高い投資収益率を目標に事業再構築に取り組み、特に利益率の高いデータ管理事業や、センサーや圧縮装置などのデジタル化事業を通じて、エネルギー効率向上と環境持続可能性に貢献。同社の技術と専門知識は水素サプライチェーンの自動化に役立つと期待される。	
6 SCHNEIDER ELECTRIC SE / シュナイダーエレクトリック	運ぶ・貯める
電力網設備とエネルギー管理ソフトウェアの大手プロバイダー。EcoStruxure プラットフォームを通じ最適化ソリューションを提供。デジタルツイン技術は、電力予測シミュレーションを可能にし、水素燃料コストを低減。統合型オフグリッドグリーン水素とエネルギー貯蔵を推進。データセンター成長加速もシュナイダー株を牽引しています。	
7 CUMMINS INC / カミンズ	使う
エンジンメーカー。既存のディーゼルエンジンと天然ガスエンジン事業の延長として、水電解事業を展開。カナダで開発した20MW水電解装置は世界で最大級。2019年にハイドロジェネクス社を買収したことでクリーン燃料電池技術と水素発電能力を大きく強化し、燃料電池ソリューション事業へも参入。	
8 QUANTA SERVICES INC / クオンタ・サービシズ	運ぶ・貯める
エネルギー供給ネットワーク分野に特化した工事請負企業。同社の再生エネルギー・インフラ事業は風力・太陽光・水力分野の大規模な発電・蓄電施設的设计・調達・建設や更新・修繕などを手掛ける。クリーン水素への需要は大幅な成長が期待されるが、同社は重要性の高い水素エネルギー関連プロジェクトを軌道に乗せるための能力を有する。	
9 MACQUARIE GROUP LTD / マクコーリー・グループ	運ぶ・貯める
子会社グリーンインベストメントグループ (GIG) を通じ、エネルギートランジション事業に参画。GIGは、豪州や英国などでの水素事業化調査を含むプロジェクトに関与。水素を燃料とする肥料会社アトラス・アルゴのオーナーであるhyCCのジョイントベンチャーパートナーで、最近まで豪州再生可能エネルギー・ハブプロジェクトの15%株主であった。	
10 FLOWSERVE CORP / フローサーブ・コープ	運ぶ・貯める
ポンプ、バルブ、その他の流量制御機器の大手メーカー、および、アフターマーケット・サービス・プロバイダーである。水素プロジェクト管理も行う。フローサーブは、最も完全で柔軟な流量制御ソリューションポートフォリオに加え、エンドツーエンドのIoTソリューションを提供。	

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1

世界の株式の中から主に水素関連ビジネスを行なう企業の株式に投資を行ないます。

- 日本を含む世界の株式(DR(預託証券)を含みます。)の中から、今後の成長が期待される水素関連ビジネスを行なう企業の株式を中心に投資を行ないます。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。

2

日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドが運用を行ないます。

- 株式運用において実績を持つ日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドのグローバル株式運用チームが、マザーファンドの運用を行ないます。

3

年1回、決算を行ないます。

- 毎年8月18日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

- 水素の活用機会は多岐にわたりますが、当ファンドでは、水素ビジネスを「**つくる、運ぶ・貯める、使う**」の3つのカテゴリーで捉え、これらの分野に関わる企業に投資を行ないます。

当ファンドの運用プロセスにおいて、ESG評価が投資対象選定の主要な要素ではないため、日興アセットマネジメントでは「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針」を踏まえて、当ファンドは「ESG投信」に該当しないと判断しました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2021年8月16日設定）
決算日	毎年8月18日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日が下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時の基準価額に対し3.3%（税抜3%）以内
※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>

運用管理費用 ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.6885%（税抜1.535%）

（信託報酬）

その他の費用・手数料 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入の有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。
- ・上海や深センのストックコネクト（株式相互取引制度）を通じた中国A株への投資においては、取引可能な銘柄が限定されていることに加えて、投資枠や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、ストックコネクト特有の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる可能性があります。さらに、ストックコネクトにおける取引通貨はオフショア人民元となり、QFII制度の取引通貨である中国本土のオンショア人民元の為替レートの値動きとは乖離する場合があります。こうした要因から、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第12号	○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第43号	○		○
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○	○	○
a u カブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券） （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○		○
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第191号	○		
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○		
株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長（登金）第1号	○		
株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第7号	○		
株式会社神奈川銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第55号	○		
株式会社さらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第15号	○		
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2938号	○		
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第46号	○	○	
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第16号	○		
三条信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第244号	○		
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○		
静銀ティエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第10号	○		
新庄信用金庫	登録金融機関	東北財務局長（登金）第37号	○		
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○		
株式会社大光銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第61号	○		
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第5号	○		
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第17号	○		
東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○	○
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第11号	○		
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第1号	○		
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第63号	○		
新潟信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第249号	○		
西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第58号	○		
のと共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第30号	○		
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第49号	○	○	
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○		
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○		
株式会社福岡中央銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第14号	○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○	○	
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○
三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第68号	○		
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	
m o m o o証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3335号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。